

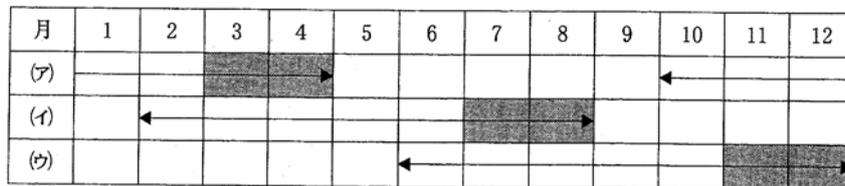
# 強者の戦略

こんにちは、地理担当の南です。地理の出題としては6回目になります。今回は、今年度の入試問題の中で南アジア農業に関する良問が一橋大学で出題されたので、その問題を東大風に改題して出題したいと思えます。世界卓球が終わり、サッカーワールドカップも日本が敗退、ウィンブルドンテニスも終わりを告げようとするこの時期、そろそろスポーツから勉強に目を移して、本気の夏を送り始めようではないですか！

問題 バングラデシュに関する以下の問いに答えなさい。[一橋大学 2010年 改題]

問1 バングラデシュで栽培されている稲は、栽培及び収穫時期によって、アウス、アマン、ボロの3つの種類に分類されている。アマンは、雨季に冠水する地域で栽培され、浮稲あるいは深水稲と呼ばれる。アウス、アマン、ボロの栽培及び収穫時期を示した図Ⅱ-1の(ア)～(ウ)のうち、アマンにあたるのはどれかを答え、そのように推測した理由を簡潔に2行(60字)以内で述べなさい。

図Ⅱ-1：バングラデシュにおける稲の栽培及び収穫時期



栽培時期： ← →

収穫時期： ■

\*実際の栽培・収穫時期には地域差があり、また在来種と高収量品種とでは若干違いがある。上図はバングラデシュの代表的な稲作地帯における大まかな平均値を示したものである。

問2 表Ⅱ-1に示されているように、ボロの収穫量は、アウスやアマンと比べて著しく増加している。表Ⅱ-1と表Ⅱ-2を参考にしながら、ボロの収穫量が大幅に増加した理由として考えられることを3行(90字)以内で述べなさい。

表Ⅱ-1：米の年平均生産量の推移(1972—2005年度)

(単位：千トン)

| 年度        | アウス   |       |       | アマン   |       |        | ボロ  |        |        | 総計     |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|--------|--------|--------|
|           | 在来種   | 高収量品種 | 小計    | 在来種   | 高収量品種 | 小計     | 在来種 | 高収量品種  | 小計     |        |
| 1972—1975 | 2,226 | 336   | 2,561 | 4,819 | 1,176 | 5,995  | 683 | 1,387  | 2,070  | 10,626 |
| 1976—1980 | 2,213 | 875   | 3,088 | 5,930 | 1,290 | 7,221  | 521 | 1,585  | 2,106  | 12,415 |
| 1981—1985 | 2,145 | 980   | 3,126 | 5,682 | 2,010 | 7,692  | 574 | 2,744  | 3,318  | 14,136 |
| 1986—1990 | 2,033 | 824   | 2,856 | 5,341 | 2,770 | 8,112  | 418 | 4,437  | 4,855  | 15,823 |
| 1991—1995 | 1,325 | 707   | 2,031 | 4,523 | 4,685 | 9,208  | 377 | 6,235  | 6,612  | 17,851 |
| 1996—2000 | 966   | 789   | 1,754 | 3,800 | 5,247 | 9,047  | 364 | 8,515  | 8,879  | 19,680 |
| 2001—2005 | 865   | 917   | 1,781 | 3,864 | 7,023 | 10,887 | 373 | 12,143 | 12,517 | 25,184 |

# 強者の戦略

表Ⅱ－２：米の年平均単位面積当たり収穫量の推移(1972—2005年度)

(単位：トン/ヘクタール)

| 年 度       | アウス |       |     | アマン |       |     | ボロ  |       |     | 総 計 |
|-----------|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
|           | 在来種 | 高収量品種 | 小 計 | 在来種 | 高収量品種 | 小 計 | 在来種 | 高収量品種 | 小 計 |     |
| 1972—1975 | 0.8 | 2.1   | 0.8 | 1.0 | 2.3   | 1.1 | 1.2 | 2.8   | 2.0 | 1.1 |
| 1976—1980 | 0.8 | 2.3   | 1.0 | 1.2 | 2.1   | 1.2 | 1.2 | 2.5   | 2.0 | 1.2 |
| 1981—1985 | 0.8 | 2.0   | 1.0 | 1.2 | 2.0   | 1.3 | 1.6 | 2.7   | 2.4 | 1.4 |
| 1986—1990 | 0.9 | 1.8   | 1.1 | 1.3 | 2.0   | 1.4 | 1.4 | 2.6   | 2.4 | 1.5 |
| 1991—1995 | 0.9 | 1.8   | 1.1 | 1.4 | 2.2   | 1.6 | 1.4 | 2.7   | 2.5 | 1.8 |
| 1996—2000 | 0.9 | 1.7   | 1.2 | 1.3 | 2.1   | 1.6 | 1.5 | 2.9   | 2.8 | 1.9 |
| 2001—2005 | 1.1 | 2.0   | 1.5 | 1.5 | 2.4   | 1.9 | 1.9 | 3.3   | 3.2 | 2.4 |

問3 バングラデシュで水害が拡大しやすい原因について、以下の語句をすべて用いて、4行(120字)以内で述べよ。

森林 高潮 河川

問4 図Ⅱ－3に示されているように、バングラデシュから海外に出稼ぎに行く人の数やそれらの人たちが海外からバングラデシュに送金する金額は近年ともに増加傾向にある。バングラデシュから多くの人が出稼ぎに行っている国を一つあげ、バングラデシュからその国に出稼ぎに行く人の数は今後どのように変化すると思うか、そのように考える理由とともに3行(90字)以内で述べなさい。

図Ⅱ－3：国外で働くバングラデシュ人の数と国外からの送金額の推移(1998—2008年)

